Empirical Labs inc.

Derr-Esser (EL-DS)

取り扱い説明書

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

マルチファンクションのディエッサー＆ダイナミックプロセッサー

API 500 シリーズ互換モジュール（VPR Alliance）
基本はエフェクティブなディエッサー、ユニークなクロスオーバーテクニックにより刺々しい高域を、音楽的な心地よいサウンドにメインテナンスできる

Empirical Labs DerrEsser at a Glance:

- DS Mode
- HF Limit
- Highpass
- Lowpass

注意 IN はボタンを押し込んだ状態、OUT は押さない状態を表します。

DS Mode
（Bypass Button を IN にセット，他のボタンは OUT ポジションに設定）
いわゆるディエッサーとして動作します。ボーカルサウンドのＳ音（シビランス）をメインテナンスしクリーンでアグレッシブなボーカルサウンドを再現可能です。このモードではダイナミックアクションがレベルインセンシブとなり、デテクター回路は高域と低域を比較、全体の信号レベルは全く関係なくなる。もし十分な高域と低域の比較があったなら、スレッショルドを超えます、DerrEsser は Frequency で設定したクロスオーバーポイントより上の周波数を抑えます。最新の VCA 技術を使いノイズレス、歪みレスのパフォーマンスを実現。

HF Limit
（Bypass Button と HF LIM を IN にセット，他のボタンは OUT ポジションに設定）

このモードでは DerrEsser は高域のみのジェネラルレベルを見ることになります。いわゆる高域専用のリミッターです。これはレベルセンシティブのタイプになりますが、より高域に対して反応します。このモードは高域をスムースに色付けするために用意されています。もちろんこのモードでディエッシングを行うことも可能です。ソフトニータイプの HF Limiter は本機の大きな魅力です。

Highpass
(Bypass Button と Listen を IN にセット, HP/LP は OUT ポジションに設定、HF LIM ボタンはどちらのポジションでも良い)

"Listen" 機能によってユーザーはダイナミクス/コンプレッション回路でコントロールされる高域成分だけを聴くことができます。周波数は FREQ ノブで可変できます。

Lowpass
(Bypass Button、Listen、 HP/LP を IN にセット, HF LIM ボタンはどちらのポジションでも良い)
このボタンの状態では VCA とダイナミクス/コンプレッション回路に影響を与えていない低域側を聴くことができます。これは 12dB/per oct のフィルターとなります。

Empirical Labs DerrEsser Features:

- Freq. Response is 3 Hz to 120 kHz (−3dB points).
- Dynamic Range − 115 dB from maximum output (.5%THD soft clipping) to minimum output. Transformerless noise floor typically − 93dBu.
- Distortion Ranges between .0035% and .01% depending on mode and settings.
- DC coupled Input and Outputs
- High quality audio caps used internally.
- Input Balanced, Output single ended but with balanced impedance.
- Pin 2 hot
- Input Impedance is 20k Ohm. Output impedance is less than 51 ohms.
- D-S Dynamics Time Constants − Attack time is less than 1mS. Release .04 sec, fixed internally.
- Power Consumption − 8 Watts max. 4 Watts Typical

DerrEsser はディエッサーとしてはもちろん、アナログサウンドの質感を得るための色付けデバイス、高性能なハイパス＆ローパスフィルターとしても使えるマルチファンクションのダイナミック･フィルタリング・デバイスです。

スタンダードなDSモードでは 2-6kHzに周波数を合わせて、スレッショルドをかけていけばボーカルの不自然なシビランス音だけを的確にトリートメント可能です。また DS モードではハイハットがスネアマイクに漏れているなどといった難しい問題の解決にも

なるでしょう。

DerrEsser の HF LIMIT モードはデジタルサウンドにありがちな高域の刺々しさ（スパイク、エッジ）をエアー感を一切失うことなくトリートメントできる唯一のツールです。またこの音質はアナログテープに録音したかのような高域の飽和感（テープコンプレッション）を再現する事も可能です。

EXAMPLE SETTING

ボーカル
DS モードに設定し 2.5kHz ～ 6kHz 付近に周波数を合わせてスレッショルドをシビラントが自然になるポジションを探っていきます。ボーカルサウンドの輝きを一切失うことなく的確なトリートメントを確約します。また HF LIMIT モードに設定した場合にはボーカルサウンドをまるでアナログテープに録音したかのような温かいサウンドに仕上げることも可能です。

エレクトリックギター
ピーキーなサウンドになり勝ちなエレキギターのレコーディングでも DerrEsser は重要な役割を果たすでしょう。DS モードでは特定のノートの周波数をトリートメントできます。アナログテープが引き起こす魅力的なテープコンプレッションとサーチュレーションの再現はボーカルやエレキギターに最適です。

アコースティックギター
アタックのエッジ感を取り除きたいがダイナミックレンジは確保したい。こんな悩みに DerrEsser の HF Limit モードが最適です。3-10dB 程の高域のリミッティングにより素晴らしいサウンドに仕上がります。またストリングノイズには DS モードが最適です。

スネア/タム
スネアマイクへのハイハット音のかぶりには DerrEsser の DS モードが役立ちます。2kHz - 8kHz の周波数設定でスレッショルドを調整していくと効果が実感できます。EQ の前で DerrEsser でしっかりトリートメントしておけば、その後ハイハットの音かぶりを気にせずスネアの EQ で高域を上げることができるようになります。タムのマイクに漏れるシンバルなどについても同じ方法が有効です。

HF Limit モードではアナログオープンテープのようなファットでパンチィ、ナチュラルな

スネアサウンドを表現します。

オーバーヘッドドラム
ブライト過ぎたり、パーカッシブ過ぎるシンバルの音にはイライラさせられるものです。アナログテープの時代はソフトクリップによってこのような問題が自然に回避されていたものですが、現在のデジタルレコーディングではそれが顕著に現れます。DerrEsserは完璧なソリューションとなります。シンバルのエアー感や明瞭さを一切失わずにシンバルの嫌なエッジのみを対策できます。LP モード（ローパス）を使えば更に危険なサウンドに仕上げられます！

アコースティックピアノ
ハンマーアタック音がミックスの中で嫌な聞こえ方をすることがあります。HF Limit モードで 2KHz 以下くらいに設定しスレッショルドを調整すれば、ナチュラルなピアノサウンドを達成できるでしょう。

シンセサーザー
デジタルサウンド特有の高域の不自然さ、チリチリ感には LISTEN LP モードか HF LIMIT モードが大変有効です。

ベースギター
ピッキングノイズやどこか欠けたようなベースサウンドには DS モードで 1-6kHz のトリートメントが役にたちます。また早いリリースとアタックタイムによって倍音を付加することができ、低域へのサーチュレーションによる色付けも可能です。FREQ を最小に（830Hz 付近）、ゲインリダクションが起こるようにスレッショルドを調整していきます。HF LIMIT や DS 回路が低域の立ち上がりのエッジに働き、ローオーダーのハーモニクスを付加します。また LP(ローパスモード）で LISTEN を IN にした設定も有効でしょう。

<その他事項>
・BAD！ライトが点灯するのは DerrEsser に大き過ぎる信号が入力されている状態です。入力信号をより低く設定してください。

・DS バーグラフではゲインリダクションしているのにリミッティングが起きていない場合は BYPASS スイッチを確認してください。

・GR LED が全て点灯している状態は LISTEN モードが有効な状態です